



平成 27 年 3 月

# 米沢市文化財年報 No.27

米沢市教育委員会



▲戸塚山古墳群小山支群B区M201号墳横穴式石室全景

戸塚山古墳群は、平成 21 年度より国指定史跡を目指して調査を開始しました。これまでの調査によって、200 基以上の古墳が確認され、南東北では最大規模を誇る群集墳であることがわかってきました。また、東北芸術工科大学とも連携して調査を行い、堤入支群 A 区 M 175 号墳などの調査において、置賜地方で最大級の石室が確認されるなど大きな成果を得ることが出来ました。今年度は昨年度に引き続き、小山支群 B 区 M 201 号墳の調査を行い、ぜんていぶ前庭部やせんどう羨道の様相が確認され、古墳の年代や祭祀の様子さいしが明らかになってきました。

写真は、M 201 号墳に眠る人物が埋葬されたよこあなしきせきしつ横穴式石室です。手前の前庭部には葬儀の際に使われた土器が多数見つかっています。今後も戸塚山古墳群の調査を継続的に進めていきます。

## 一般文化財事業

一般文化財事業では、今年度も継続事業が中心でしたが、例年どおり多岐にわたる事業を実施しています。以下、特に重点を置いた事業について紹介します。

### 【国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡」(普門院庫裏)保存整備事業】

上杉治憲敬師郊迎跡は、米沢藩9代藩主上杉治憲(鷹山公)が師の細井平洲先生を郊迎した地として、昭和10年に国の史跡に指定されています。

本年度は、普門院庫裏工事の3年目となりましたが、工事費の高騰等から併せて事業計画の見直しを実施しました。15ヶ年を予定していた全体計画は18ヶ年計画となり、現在進めている庫裏工事も予定を1年延長して5ヶ年計画となります。工事は庫裏の木工事や屋根工事を中心に進め、庫裏内の水場の発掘調査も行いました。

また、普門院には姉妹都市の東海市より鷹山公と平洲先生の郊迎の様子を表した「敬師の像」が寄贈され、史跡に新たなシンボルが加わることになりました。

### 【国指定史跡「米沢藩主上杉家墓所」消火設備等復旧事業】

米沢藩主上杉家墓所は、平成6～19年度の14カ年をかけて保存修理工事を実施しました。史跡は良好な状態に保たれていましたが、平成25年2月の異常低温が原因で消火設備がき損し、消火設備が使用できない状態となりました。そのため国庫補助事業を申請し、き損した消火設備の復旧と治憲廟の補強工事、廟所内の水路の浚渫工事(清掃)を行いました。今後はこれまで以上に史跡の適切な管理に努めていきます。

### 【市指定天然記念物「吾妻の白猿」の市街地出没】

「吾妻の白猿」は、珍しい白色のニホンザルで、この地域のみで確認されることから昭和58年に市の天然記念物に指定されました。これまで25頭が白猿会(縮文夫会長)によって確認されています。

平成26年12月末頃から市街地での白猿の目撃情報があり、市内各所から情報が寄せられました。白猿は平成21年生まれの「チッチ」とみられ、文化課では農林課・環境生活課と連携し、市街地に被害が出ないように現地確認などの対応をしてきました。

平成27年1月30日に米沢獺友会の協力のもと箱罟を仕掛けて白猿を捕獲し、現在は県の救護所で一時的に保護しており、今後慎重な対応を検討していきます。

### 【国指定特別天然記念物「カモシカ」の保護】

「カモシカ」の保護について、今年度は対応数が急激に増加しました。例年の死体処理や出動は年間10件前後ですが、今年度は28件(平成27年2月末日現在)と過去最高の件数となり、対応に苦慮しています。はっきりとした原因は不明ですが、山形県全体でも増加しているとの報告もあり、適切な対応を行いつつ、今後の推移を見守っていきます。

その他にも例年通り、市指定史跡「直江石堤」「戸塚山古墳群」の草刈・雑木除去や国指定史跡への管理補助事業、県指定文化財への補助事業、文化財指定候補の調査なども引き続き実施しました。今後とも、文化財保護へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

一般文化財事業



▲普門院庫裏内部



▲上杉治憲敬師郊迎跡保存整備検討委員会



▲普門院庫裏内水場の発掘調査



▲敬師の像（右側が鷹山公）



▲米沢藩主上杉家墓所



▲消化設備復旧後の放水訓練の様子



▲市街地に出没した白猿



▲市街地に出没したカモシカ

## 埋蔵文化財事業

本年度の埋蔵文化財に関する発掘届及び確認調査の依頼件数は、平成 27 年 2 月 28 日現在で 41 件、重要遺跡の保存目的調査 2 件を含めると 43 件でした。これらの調査成果について紹介します。

### 【館山城跡保存整備事業】

国史跡指定とその後の保存整備を目指す館山城跡保存整備事業は、今年度で 5 年目を迎えました。今年度は昨年度に発見した石垣の調査を中心に行い、石垣の年代が上杉時代であることが明らかとなりました。館山城跡が伊達氏のみではなく、上杉氏によっても利用されていたことが判明し、館山城跡の歴史的展開を考える上で大きな成果となりました。

また、これまでの館山城跡に関する調査のまとめとして調査報告書を刊行し、来年度は国史跡指定に向けて事業を進めていきます。

### 【戸塚山古墳群の調査（市内遺跡発掘調査等事業）】

戸塚山古墳群の調査は 6 年目となりました。今年度からは、今後の国史跡指定に向けた範囲確認調査を開始し、併せて金ヶ崎支群の用地測量も実施しました。

確認調査は、昨年度に引き続き小山支群 B 区 M 201 号墳の調査を中心に行いました。調査の結果、横穴式石室の前庭部から墓前祭祀が複数回行われている状況を確認し、M 201 号墳は 7 世紀第 3 四半期頃に築造され、8 世紀第 2 四半期頃まで追葬が行われていたことが判明しました。なお、M 201 号墳については来年度も継続して調査を行います。

### 【一ノ坂遺跡の調査】

一ノ坂遺跡は、縄文時代の石器工房跡である竪穴住居跡や数百万点に及ぶ石器が確認され、平成 9 年に国指定史跡となりました。

今年度は史跡の隣接地が市道の拡幅工事で開発されることになり、事前調査を行いました。調査の結果、石器や土器などが出土しましたが、攪乱層が中心で縄文時代とみられる明確な遺構は確認されませんでした。史跡隣接地の開発であり、慎重に対応していきます。

### 【八幡塚古墳普及事業（市民協働事業）】

窪田町窪田にある八幡塚古墳は、古墳時代中期（5 世紀頃）に築造された張出部を持つ珍しい形態の円墳です。

今年度、八幡塚古墳保存会が、古墳を活用した地域活性化事業を、市民協働提案制度に提案して採択されました。保存会との協働で八幡塚古墳に説明板と案内板を設置し、パンフレットを作成したことで、その活動はメディアに取り上げられるなど、八幡塚古墳の存在も広く周知されるようになりました。今後は八幡塚古墳の文化財指定も視野に入れつつ、保存会の活動にも協力していきます。

今年度は館山城の調査の仕上げが中心となり、来年度は国史跡指定に向けて文化庁との調整を進めていきます。今年度の事業にご協力を賜りました関係者の皆さまに御礼申し上げますとともに、今後とも埋蔵文化財保護へのご理解とご協力をお願いいたします。

埋蔵文化財事業



▲館山城跡発見の石垣（曲輪 | 枳形虎口）



▲館山城跡調査風景



▲館山城跡現地説明会の様子



▲戸塚山M 201号墳前庭部の遺物出土状況



▲一ノ坂遺跡出土遺物



▲戸塚山M 201号墳現地説明会の様子



▲八幡塚古墳全景



▲八幡塚古墳パンフレット

## 《第3回文化財事業特集》

今回は、今年度文化財調査を行った慈覚大師じかくだいし（円仁えんにん）にゆかりのある上郷地区の一念峰いちねんぽうについて紹介します。

### ○一念峰とは

米沢市大字長手の上海上地区かみかいしやう北東に連なる霊山一念峰は、岩山が長年の風化によって削り取られてできた巨岩・奇岩が散在することで知られ、貞観2年（860）に東北布教に来られた慈覚大師が開山したと伝わっています。慈覚大師がこの霊山に籠ること一年で弟子を残し山寺に移ったため、一念（年）峰と称されるようになったといわれています。戦前は県の天然記念物（名勝）に指定されていました。

標高460mの山頂は、大きく露出する断崖絶壁のほか南北や東西方向に延びる尾根に沿って大小の奇岩・巨岩が点在します。幕岩・鋸岩・獅子岩・機織岩はたおりいわ・大師の笠置岩・紙飛ばし岩等の奇岩群を背景に、護摩壇や洞窟、胎内くぐりなど、現在20箇所の岩に名前が付けられていますが、他に忘れさられたものや無名の岩も多数あります。

一念峰は、慈覚大師ゆかりの修行場として中世から近世にかけて一念峰本堂を中心に、全体を信仰の対象として隆盛を誇っていました。まさに、置賜版「山寺」といっても過言ではなく、中近世の信仰形態を示す貴重な場所です。

### ○慈覚大師とは

慈覚大師こと円仁は、延暦13年（794）下野国都賀郡えんりやくに生まれ、出自は豪族壬生氏です。9歳で仏教の世界に入り、15歳の時に天台宗の開祖最澄さいしやうに弟子入りします。承和5年（838）には入唐して密教を学び、数多くの貴重な経典や仏具類を日本にもたらしました。時の天皇からも高く評価され、最澄と共に我国で最初の諡号（大師号）が贈られたことでも知られています。慈覚大師に由来する伝承は、全国に多数残っています。東北地方で開山や再興したと伝わる寺院等は、山形市の立石寺（山寺）をはじめ、宮城県松島町の瑞巖寺、福島県伊達市の霊山寺、岩手県平泉町の中尊寺、青森県むつ市の恐山円通寺など多数知られており、一念峰もその一つに数えられます。



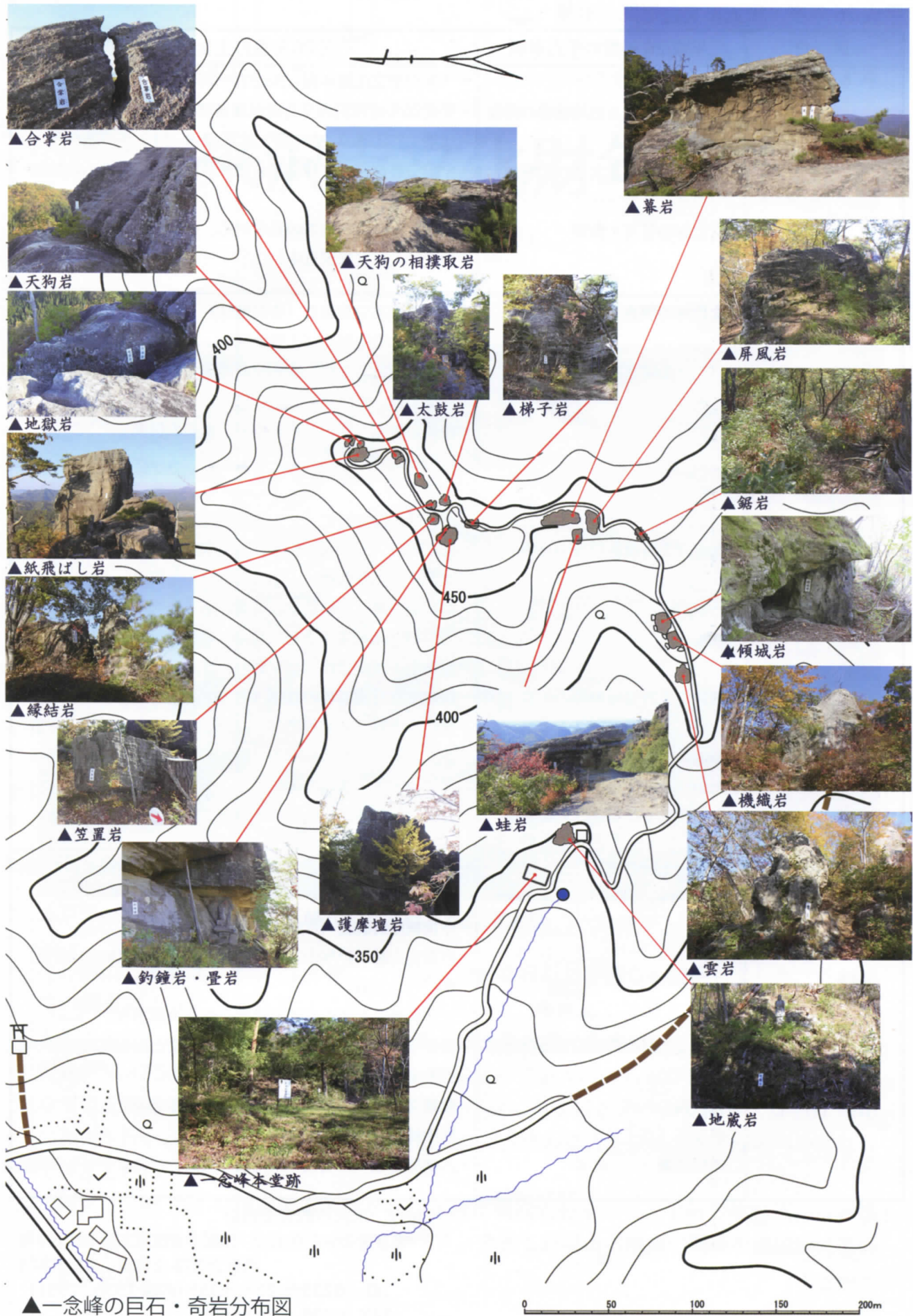
▲一念峰の山々



▲巨大な幕岩



▲洞窟に安置された大師像



平成 26 年度 米沢市文化財関係事業

区 分	平成 26 年度の重点事項	平成 26 年度の主な事業報告
1. 文化財共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業の記録</li> <li>○文化財に関する諮問機関の開催</li> <li>○文化財行政推進大会への参加</li> <li>○文化財の普及・教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「米沢市文化財年報」No.27の発行</li> <li>・平成26年度米沢市文化財保護審議会の開催 (第1回H26.7.22 第2回 H27.3.24)</li> <li>・全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会総会への参加 (福島県白河市)</li> <li>・埋蔵文化財資料室等の見学対応、米沢チャレンジウィークの受け入れ(米沢五中)</li> </ul>
2. 一般文化財	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財の調査</li> <li>○文化財の保護</li> <li>○指定文化財保存管理の充実</li> <li>○指定文化財環境整備の促進</li> <li>○無形民俗文化財後継者の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草木塔関連史跡調査(築沢地区)</li> <li>・一念峰の現地調査(上郷地区)</li> <li>・国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡」保存修理事業の継続 (7年目、普門院庫裏の3年目)</li> <li>・国指定特別天然記念物「カモシカ」の保護</li> <li>・市指定天然記念物「ホタル」及び同「吾妻の白猿」の保護調査</li> <li>・市街地出没の白猿(チッチ)の保護</li> <li>・文化財防火デー(上杉神社防火訓練ほか)</li> <li>・県指定天然記念物「山上の大クワ」の管理</li> <li>・国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡(普門院・羽黒神社)」及び同「米沢藩主上杉家墓所」の管理等に係る補助</li> <li>・県指定天然記念物「長町裏のエゾエノキ」に係る補助</li> <li>・指定文化財説明板の修繕(古志田東遺跡)</li> <li>・国指定史跡「一ノ坂遺跡」及び市指定史跡「戸塚山古墳群」、同「谷地河原堤防(直江石堤)」の環境整備(草刈・雑木除去等の実施)</li> <li>・県指定無形民俗文化財「粹山獅子踊」保存会への補助</li> </ul>
3. 埋蔵文化財	<ul style="list-style-type: none"> <li>○埋蔵文化財の調査</li> <li>○埋蔵文化財の情報収集及び周知</li> <li>○報告書の作成</li> <li>○普及版(ガイドブック)の作成</li> <li>○市民協働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎭山城跡範囲確認調査・総括報告書の作成・国史跡指定にむけた準備</li> <li>・中世城館跡調査(片倉山館跡等)</li> <li>・市指定史跡「戸塚山古墳群」範囲確認調査(M201号墳)及び用地測量</li> <li>・一ノ坂遺跡の調査(市道拡張に伴う事前調査)</li> <li>・開発事業に際する事前協議及び埋蔵文化財包蔵地における土木事業前の試掘調査</li> <li>・埋蔵文化財調査報告書第107～108集の刊行</li> <li>・鎭山城跡ガイドブックの刊行</li> <li>・八幡塚古墳の説明板・案内板の設置、パンフレットの刊行</li> </ul>

発行 米沢市教育委員会

〒992-0012 米沢市金池三丁目1番14号  
 教育管理部 文化課 文化財担当

TEL 0238-21-6111(内線7530、7531)

FAX 0238-21-6020

E-mail: bunka-ka@city.yonezawa.yamagata.jp